1. マタイによる福音書5章1節~16	۱.	. 福台書 5 章 1 節~16	餠
---------------------	----	------------------	---

◆ イエスは、どこで、どのような人々に、どのよう に、話し始めますか。(4:12-5:2)

● この人々は、現に今、幸いなのでしょうか。いつのときか、幸いになるのでしょうか。なにか、条件のもとで、幸いになるのでしょうか。(3-10)

- ◆ それぞれの人々について考えてみましょう。どのような人々ですか、その人々についてイエスはどう言っていますか。(3-10)
  - 1. 心の貧しい人々とは? (3)
  - 2. 悲しむ人々とは? (4)
  - 3. 柔和な人々とは? (5)
  - 4. 義に飢え渇く人々とは? (6)

- 5. 憐れみ深い人々とは? (7)6. 心の清い人々とは? (8)
- 7. 平和を実現する人々とは? (9)
- 8. 義のために迫害される人々とは? (10 (-12))
- なぜこの人々に「天には大きな報いがある」と言っているのでしょうか。(11,12)

• 「あなたがたは地の塩、世の光である」とは、どのようなことを意味しているのでしょうか。(13,14)

● 「あなた方の光を人々の前に輝かしなさい」とは、 具体的にどのようなことを命じているのでしょう か。(15,16)

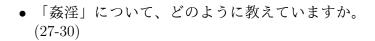
## 2. マタイによる福音書5章17節~37節

● 律法や預言者を完成(成就)するとはどのようなことを意味していますか。(17-19)

• 「律法学者や、ファリサイ派の人々の義にまさる 義」とは、どのようなものでしょうか。(20)

「腹を立てる」こと「ばかと言う」こと「愚か者 という」ことは、なぜ「人を殺す」ことと並べら れているのでしょうか。(21, 22)

● 「仲直り」(24)「和解」(25) は、どのような人と の関係について言っていますか。なぜそれほどた いせつなのでしょうか。(23-26)



「離縁」について、どのように教えていますか。 (31,32)

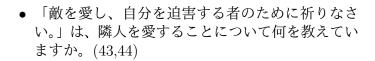
• なぜ「一切誓いを立ててはならない」と言っているのでしょうか。(33-37)

● 「律法の完成(成就)」「律法学者や、ファリサイ派の人々の義にまさる義」について、これらの例から、何を教えているのでしょうか。

#### 3. マタイによる福音書5章38節~48節

• 「悪人に手向かうな」とは、「絶対無抵抗主義」の ことでしょうか。(38,39)

- 具体的な三つの例から、何を教えているのでしょうか。
  - 1. あなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい。(39)
  - 2. あなたを訴えて下着を取ろうとする者には、 上着をも取らせなさい。(40)
  - 3. ーミリオン行くように強いるなら、一緒に二 ミリオン行きなさい。(41)
- 「求める者には与えなさい。」とは、何でも要求されたら、応じなさいということでしょうか。(42)



● 天の父について、どのようなことが教えられていますか。(45)

◆ 46 節の「報い」とは、何を意味しているでしょうか。(46,47)

● 地の塩、世の光、律法を完成する、律法学者やファリサイ派の人々の義にまさる義とは、あなたは、どのようなことだと思いますか。

# 4. マタイによる福音書 6 章 1 節 $\sim$ 18 節(9 節-13 節を除く)

◆ どのような三つの行為について述べられ、これらをするときには、どのようなことに注意しなさいと言っていますか。(1,2,5,16)

• 人からの報い、天の父の報いは、それぞれどのようなものでしょうか。(1,2)

「施し」とは本来どのような行為なのでしょうか。 (3,4)

◆ 祈るときは、どのように祈れと言っていますか。
(5-8)

•	祈るときの、	形式・方法論がたいせつなのでしょ
	うか。(5-8)	

• 断食については、なにを教えていますか。(16-18)

• 断食自体は否定されていないようですが、断食と は何のためにするものなのでしょうか。

• 「施し」「祈り」「断食」についてイエスの教えを学びました。イエスは、他者との関係において、天の父との関係において、自己との関係について、なにを教えているのでしょうか。

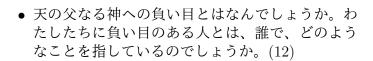
## 5. マタイによる福音書6章9節~15節

イエスが教えてくださった祈りは、どのような呼びかけで始まりますか。(9)

• ルカによる福音書にある祈りと比較して、気づいたことをあげてみましょう。(ルカによる福音書 11章 1 節-4 節)

「御国が来ますように」とは、何を求めて、祈るのですか。(10)

◆ なぜ「わたしたちに必要な糧を今日与えてください。」と祈るのですか。(11)



誘惑、悪いものは、どのようなことを指していま すか。(13)

● 人の過ちをゆることが、天の父にゆるしていただ く条件なのでしょうか。(14,15)

● この祈りは「主の祈り」と呼ばれていますが、あなたは、どのようなことを学びましたか。

## 6. マタイによる福音書6章19節~34節

● 地上に積むな、天に積むめと言っていますが、富とは何なのでしょうか。(19-21)

■ 富を天に積むとはどのようなことを言っているのでしょうか。例をあげて説明してください。

「体のともし火は目である」とは、なにを教えているのでしょうか。

● 「神と富とに仕えることはできない」とは、何を 教えているのでしょうか。(24)

● 25節は「だから」と始まりますが、それ以前とど のように関係していますか。(25)

•	ばまなくてよいのですか。(25-30)
•	たくさん「思い悩む」ことについて書かれていますが、思い悩むとは、どのようなことをさしているのでしょうか。(25-31)
•	「あなたがた」は、特別なようですが、それは、どのような意味において、特別なのでしょうか。天の父なる神様は、どのような方だと言っていますか。(26-32)
•	「神の国と神の義を求める」とは、どのようなことでしょうか。(33)
•	「明日のことは明日自らが思い悩む。」とはどのようなことを言っているのでしょうか。(34)

## 7. マタイによる福音書7章1節~12節

「裁く」とは、どのような行為なのでしょうか。 (1,2)

善悪を判断してはいけないということでしょうか。 (1,2)

• なぜ、裁くことと、裁かれることが関係している のでしょうか。誰に、裁かれるのでしょうか。(1,2)

丸太(梁)とちり(ほこり)のたとえは、何を説明しているのでしょうか。(3-5)

• 犬に与えてはならないという、神聖なものとは、何 を指しているのでしょうか。犬や、豚はなにを表 していますか。(6)

<ul><li>求めなさい、探しなさい、門をたたきなさいを教えていますか。(7,8)</li></ul>	いは、何
● わたしたちは、何を、求め、探し、どの。 を開けてもらおうとするのでしょうか。('	

• 天の父は、どのような方ですか。(9-11)

「だから(それで)」(v12) はどのように、つながっているのでしょうか。(12)

• 「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。」と「己の欲せざる所は人に施す勿れ」を比較してみましょう。(12)

## 8. マタイによる福音書7章13節~23節

● 狭い門、細い道、広い門、広々とした道について どのようなことがわかりますか。(13,14)

• 命に通じる門の狭さ、その道の細さは、見出しに くさは、具体的にどのようなことを意味している のでしょうか。(13,14)

• 偽預言者とはどのような人のことですか。(15)

● 実とはなにを指しているのでしょうか。(16)

• 「すべて良い木は良い実を結び、悪い木は悪い実 を結ぶ。」とありますが、中間はないのでしょう か。(17,18)

•	良い実を結ばない木は、どうなると言われていま すか。(19,20)	
•	天の国にはいる人はどのような人ですか。(21)	
•	「御名によって預言し、御名によって悪霊を追い出し、御名によって奇跡をいろいろ行う」ことは、素晴らしいことではないでしょうか。なぜ、「不法を働く者ども」になるのでしょうか。厳しすぎるのではないでしょうか。(21-23)	
•	天の国に入ること、父の御心を行うことは、厳し い道に思われますが、幸いな道なのでしょうか。	
•	イエスにとって、天の父の御心を行うとは、どの ようなことなのでしょうか。(21-23)	

9.マタイによる福音書7章 24 節〜29 🛭	)節	ከ $\sim 29$	24 節	7章:	る福音書	によ	゙タイ	9.
-------------------------	----	-------------	------	-----	------	----	-----	----

たとえで、「岩」とは、「家」とは、「地面(砂)」とは、何を意味しているのでしょうか。何が同じで、何が異なるのでしょうか。(24-27)

◆ イエスのことばを聞いて行う人と、聞くだけで行 わない人をわけるのは、何なのでしょうか。(24, 26)

◆ なぜ、イエスのことばを聞いて行うことがたいせつなのでしょうか。(24)

• 倒れ方がひどいのは、なぜで、それは何を意味しているのでしょうか。(27)

•	群衆は、	何に驚いたのでしょうか。	(28,29)

・権威あるものとしてお教えになったとは、どのようなことを指しているのでしょうか。本文から例をあげてみましょう。(28,29)

● 地の塩、世の光、律法を完成する、律法学者やファリサイ派の人々の義にまさる義とは、あなたは、どのようなことだと思いますか。

● 山上の説教(5章~7章)において、イエスの教えの中心は、何なのでしょうか。自分の言葉で表現してみましょう。